

# 音楽ライブ・ビジネス におけるリスクマネジメントと保険 —2014年以降の事例を中心に—

日本保険学会創立75周年記念大会  
2015年10月24日(土)  
慶應義塾大学三田キャンパス

関西大学 社会安全学部  
亀井克之

# 報告概要

## □1.研究の背景と目的

□(1)リスクマネジメントのフレームワークと新たな適用例提示:エンタテインメント・ビジネス

□(2)急拡大する市場におけるリスクマネジメントの考察:音楽ライブ市場

## □2.先行研究と研究方法

## □3.音楽ライブ・ビジネスにおけるリスクとリスク対応

## □4.イベント保険における保険事故と免責事由

## □5.結語と今後の課題

# 1. 研究の背景と目的

## (1) リスクマネジメントのフレームワークの新たな適用例提示

- リスクマネジメントのフレームワーク
- 1915年 **ドイツ ライトナー**『企業リスク論』
  - ⇒1920年代ドイツ企業のリジコポリティク(危険政策): **倒産の防止**
- 1916年 **フランス ファヨール**『産業ならびに一般の管理』
  - =「保全的職能論」(**人と資産の保護**)
  - ⇒PDCAサイクルへと発展
- 1956年 **アメリカ ギャラガー**『リスクマネジメント **コスト管理**の新展開』
- 1963年 **メーア & ヘッジス**『企業のリスクマネジメント』 1964年 **ウィリアムス & ヘインズ**『リスクマネジメントと保険』により **保険管理論**の一形態として確立
  - ⇒保険管理型のリスクマネジメント理論 **日本**に導入
- 現代的フレームワークに結実
- ⇒2004年 **アメリカ COSO ERM**
- ⇒2009年 **ISO 31000**

# ISO 31000

- **リスク (risk) の定義**  
**「目的に不確実性が及ぼす影響」**  
***effect of uncertainty on objectives***  
(ISO 31000:2009; ISO 73:2009; JIS Q31000:2010; JIS Q0073:2010)
- その理解
- ↓
- **純粋リスク(Pure Risk)**    事故・災害
  - **管理すべきリスク**
  - ***Risk to manage***        ***Loss Only Risk***
- **投機的リスク(Speculative Risk)**    ビジネス・リスク
  - **とるリスク**
  - ***Risk to take***        ***Loss or Gain Risk***

## ISO31000

- **リスクマネジメントの定義**
- **ISO 31000 (2009) ISOならびに Guide 73 (2009)の定義**
  - **「リスクに関して組織を指揮し統制する調整された活動」**
  - **Risk Management**
  - **coordinated activities to direct and control an organization with regard to risk**
  - **(ISO 31000:2009, ISO, 2. Terms and Definitions, 2.2., p.2; 『JIS Q 31000:2010』日本規格協会, 2. 用語及び定義, 2.2., p.5)**

# ISO31000によるリスクマネジメントのプロセス



# リスクマネジメントのプロセスの理解

- (1) リスクの特定 (**発見**)

- = Risk Identification



- (2) リスクの分析・評価 (**想定**)

- = Risk Analysis and Evaluation



- (3) リスク処理手段の選択 (**対応**)

- = Risk Treatment

## リスク処理手段の選択(対応)

### リスク・トリートメントの理解

- A: リスクコントロール(事前の予防)
- B: リスクファイナンス(資金の準備)
- 1) 回避 避ける
- 2) 除去・軽減 減らす
- 3) 転嫁・移転 他に移す
- ・共有 分担する
- 4) 保有・受容 受け入れる

リスク処理手段の  
選択・組み合わせ  
決断

## (2) 急拡大する市場のリスクマネジメントを考究する意義

### <音楽ライブ・ビジネス>

エンタテインメント・ビジネス, イベント・ビジネスとしての音楽ビジネス

技術革新による市場環境の激変

CD等のパッケージ市場の縮小とライブ市場の拡大⇒ライブが音楽ビジネスの中心に  
「不確実性と複雑性がきわめて高いビジネス」(八木, 2015年7月)

### <目的および内容>

本研究=リスクマネジメントのフレームワーク+音楽ライブビジネス

- ①リスク特定:音楽ライブ・ビジネスにはどのようなリスクがあるのか?
- ②リスク対応:そのリスクに,どのように対応するのか?
- ③リスク・ファイナンス:どのような保険があるのか?担保危険は?免責は?

# 音楽市場

	1998年	2014年
パッケージ(CD, DVD等) 総生産金額	6,075億円	2,542億円
ライブ市場 (公演数)	9,500本	27,581本
ライブ市場 (観客動員数)	1,430万人	4,261万人
ライブ市場 (売上高)	710億7,400万円	2,749億4,400万円

# 大規模 音楽フェスティバルの隆盛

- ロック・フェスティバルとクラシック音楽祭
  - 3大ロック・フェスティバル
    - Fuji Rock Festival (新潟県 苗場)
    - Summer Sonic (千葉県と大阪府)
    - Rock In Japan Festival (茨城県)
  - 国内で年間およそ60のロック・フェスティバル
    - Monster bash (香川県まんもう町)等 人気急上昇
      - ⇒チケット即日完売 2015年8月22日・23日 2日間で5万人
  - クラシック音楽祭
    - 「熱狂の日」*La Folle Journée au Japon*毎年ゴールデンウィーク期間中
      - 2005年東京で開催以来, 現在は新潟, 金沢, 大津, 鳥栖でも開催

## 2. 先行研究と本研究の方法

### • 先行研究(国内)

- 飯塚(2011) :「事前の確認や相談が十分に為されたならば,イベントの本番中(会期中)に起こるトラブルに対処する手段は, **保険と契約書**になる」
- A: 八木・大塚(2013) : 音楽ライブのリスク, リスクコントロールを概観し, コンサートプロモーターが活用可能なリスクファイナンス(保険)について分析。倅田來未ライブ事例。
- B: 八木・大塚・亀井(2014a) = 2013年11月執筆: A論文の枠組みを踏襲しながら, (1)A論文で提示した音楽ライブのリスク, リスクコントロールの一つ一つに具体的な事例を付け加えた。(2)倅田來未ライブ事例を修整した。
- C: 八木・大塚・亀井(2014b) = 2014年1月執筆: B論文の内容を(1)「リスクマネジメントのフレームワーク」(リスクの発見⇒予測⇒対応: 回避・除去・転嫁・保有)に適用して分析し直した。(2)具体的事例を最新のものにして洗練させた。(3)「地震危険担保特約をめぐる動き」を付加した。(4)「リスクコミュニケーション」という観点から新たに論究した。
  - 「コンサートプロモーターによる戦略的な保険選択の重要性」
  - 「どの保険をどう選択すれば効果的にリスクを移転できるか」

### • 本研究の方法: 既存論文に何を新たに付け加えたか(未公表性)

- 2014年2月以降の事例・資料に基づく音楽ライブとリスクマネジメントの分析
- 会場(公立文化会館など)の視点を新たに追加
- リスクマネジメントのフレームワークを概説

### 3. (1)音楽ライブ・ビジネスにおける**リスク**とリスク対応

#### 純粹リスク(Pure Risk) : 損失の可能性

- ①悪天候や自然災害による興行中止・中断
- ②出演アーティストおよびスタッフの怪我・急病
- ③観客の怪我・急病
- ④楽器・機材, 会場の設備・備品のトラブル(破損・紛失等)

①～④の発生による

⑤人的損失, ⑥物的損失

⑦債権回収不能, ⑧利益喪失,

⑨損害賠償責任・補償責任, ⑩費用負担

#### 投機的リスク(Speculative Risk) : 不確実性

- ①アーティストの選定
- ②会場の選定(場所・規模・交通の便・近隣地域状況)
- ③日程の選定(競合コンサートと重なっていないか)
- ④チケットの価格設定
- ⑤マーケティング(公演の告知・チケット販売のプロモーション)
- ⑥セットリスト(演奏曲目)

①～⑥の不成功による

⑦債権回収不能, ⑧利益喪失,

⑨損害賠償責任・補償責任, ⑩費用負担

### 3. (2)音楽ライブ・ビジネスにおけるリスクとリスク対応

#### リスク・コントロール(事故の防止, 物理的な災害対策)

- ① 火災や地震など一般的な事故・災害対策の適用
- ② 出演アーティストやスタッフの健康管理
- ③ 入退場時の来場者の整列, 警備セキュリティの強化, ライヴ会場における危険行為禁止の徹底, 違反行為による怪我等に責任を負わないという責任範囲の明確化, 急病者への対応準備
- ④ 楽器・器具の点検, 取り扱い説明・配慮・注意

#### リスク・ファイナンス(保険の活用, 資金準備)

- ① 興業中止保険
- ② 賠償責任保険＝施設所有管理者賠償責任保険
- ③ 動産保険
- ④ 傷害保険
- ⑤ 一般社団法人コンサートプロモート協会による保険

### 3. (2)音楽ライブ・ビジネスにおけるリスクとリスク対応

回避(避ける)
① 不企画・不開催・中止の決断
除去・軽減(減らす)
① 一般的な事故・災害対策の適用 ② 出演アーティストやスタッフの健康管理 ③ 入退場時の整列促進 ④ 警備セキュリティ強化 ⑤ 会場での危険行為禁止の徹底
転嫁・移転(他に移す)・共有
① 保険加入(リスクの転嫁・移転) ② アーティスト所属事務所と出演契約を交わし責任範囲の明確化(アーティスト側へのリスクの移転, あるいはリスクの共有) ③ パートナーシップ協定(企業間でのリスクの共有)
保有(受け入れる)
① 企画・開催・決行の決断 ② 保険契約における免責事項(保険金を支払わない場合)を意識すること

Yatsugatake Jazz Festival, August 9 2015



# 音楽ライブに関わるリスクファイナンス(保険)

## (コンサートプロモーター視点①③④⑤ 会場施設視点②)

- ①興行中止保険 (費用・利益保険における「興行中止保険特約条項」)  
興行が偶発的な事由により中止・延期されたことによる影響(費用負担・収益喪失)について補償
- ②賠償責任保険(施設所有管理者賠償責任保険):  
施設の欠陥や管理不備, または利用に伴う業務遂行による被保険者の損害賠償リスク(観客の人身・物損事故による賠償金の支払いや費用の負担の賠償責任)を補償
- ③動産保険:  
出演者やスタッフが使用する楽器や機材, 衣装, 制作道具, 舞台装置(音響, 照明, 美術品等)の故障や破損を補償
- ④傷害保険:  
出演者やスタッフ, 観客の公演期間中の偶発的事故による怪我やそれに起因する死亡あるいは後遺症を補償
- ⑤一般社団法人コンサートプロモーターズ協会による保険  
協会加盟企業は, 賠償責任保険や傷害保険の適用を受けることが可能

# 保険例 プロモーター視点

(東京海上日動, 三井住友海上, 損保ジャパン日本興亜)

## • イベント保険

- 興行中止保険\*
- 施設賠償責任保険
- 傷害保険
- 動産総合保険

### • \*費用・利益保険普通保険約款 **興行中止保険**特約条項

- 「悪天候・費用基準用」
- 「悪天候・収益基準用」
- 「オールリスク・不出演担保・費用基準用」
- 「オールリスク・不出演担保・収益基準用」
- 「オールリスク・不出演不担保・費用基準用」
- 「オールリスク・不出演不担保・収益基準用」

## 保険例 会場視点

- **公益社団法人 全国公立文化施設協会 保険事業**
  - 保険代理店を通じて「公立文化施設」用の保険を協会会員に提供
    - ● **公立文化施設賠償責任保険**  
(施設所有(管理)者賠償責任保険、昇降機賠償責任保険、受託者賠償責任保険、自動車管理者賠償責任保険、情報漏えいプロテクター特約付専門事業者賠償責任保険)
    - ● **公立文化施設災害補償保険** (レジャー・サービス施設費用保険)
    - ● **公立文化施設自主事業中止保険** (興行中止保険)
    - ● **公立文化施設貸館対応興行中止保険**
    - ● **公立文化施設役員賠償責任保険**
  - (出所) **全国公立文化施設協会のWEBサイト**

#### 4. イベント保険におけると免責事由

## 興行中止保険において保険金の支払い対象となる費用項目

- ・会場費(会場使用料, 電気・空調を含む会場付帯設備使用料等)
- ・チケット払い戻し手数料(プレイガイド返金手数料, 郵送代等)
- ・チケット販売手数料(外部販売会社への委託料)の報酬
- ・舞台制作費(舞台制作資材代, 舞台監督および制作スタッフ等)
- ・舞台美術制作費(舞台美術機器レンタル費(楽器音響機器のレンタル代, ピアノ調律代等)
- ・術資材代, 美術監督および美術スタッフの報酬等)
- ・楽器音響楽器音響機器運搬費(運搬車両代, 運転人件費等)
- ・衣装関連費(衣装制作代, スタイリスト料等)
- ・美容関連費(着付け代, ヘアメイク料等)
- ・楽屋関連費(ケータリング代等)
- ・警備関連費(警備・誘導会社への報酬等)
- ・主催関連費(放送局の主催者名義代等)
- ・広告宣伝費(チラシ・ポスターの制作費, 飛行船・アドバルーンの使用料等)
- ・出演者人件費(出演者およびスタッフの人件費等)
- ・リハーサル費用(ゲネプロ・練習時の会場使用料および楽器音響機器使用料等)
- ・映像制作費(カメラ使用料, カメラオペレーター人件費等)
- ・食事代(弁当代等)
- ・交通宿泊関連費(出演者およびスタッフの宿泊交通費等)
- ・中止延期広告宣伝費(新聞および放送局への中止告知代等)
- ・著作権使用料
- ・その他, 制作雑費(保険会社が妥当と認めた雑費)

(出所)八木・大塚(2013)←2015年度の最新の各社パンフレットにおいても、保険金が支払われる費用の具体的列記は見つけにくい。  
そのため音楽産業を専門分野とする八木・大塚両氏が作成したものを使用した。

#### 4. イベント保険における保険事故と免責事由

### 施設所有管理者賠償保険において保険金の支払い対象となる費用項目

- ・会場費(会場使用料, 電気・空調を含む会場付帯設備使用料等)
- ・チケット払い戻し手数料(プレイガイド返金手数料, 郵送代等)
- ・チケット販売手数料(外部販売会社への委託料)の報酬
- ・舞台制作費(舞台制作資材代, 舞台監督および制作スタッフ等)
- ・舞台美術制作費(舞台美機器レンタル費(楽器音響機器のレンタル代, ピアノ調律代等)
- ・術資材代, 美術監督および美術スタッフの報酬等)
- ・楽器音響楽器音響機器運搬費(運搬車両代, 運転人件費等)
- ・衣装関連費(衣装制作代, スタイリスト料等)
- ・美容関連費(着付け代, ヘアメイク料等)
- ・楽屋関連費(ケータリング代等)
- ・警備関連費(警備・誘導会社への報酬等)
- ・主催関連費(放送局の主催者名義代等)
- ・広告宣伝費(チラシ・ポスターの制作費, 飛行船・アドバルーンの使用料等)
- ・出演者人件費(出演者およびスタッフの人件費等)
- ・リハーサル費用(ゲネプロ・練習時の会場使用料および楽器音響機器使用料等)
- ・映像制作費(カメラ使用料, カメラオペレーター人件費等)
- ・食事代(弁当代等)
- ・交通宿泊関連費(出演者およびスタッフの宿泊交通費等)
- ・中止延期広告宣伝費(新聞および放送局への中止告知代等)
- ・著作権使用料
- ・その他, 制作雑費(保険会社が妥当と認めた雑費)

(出所)八木・大塚(2013)←2015年度の最新の各社パンフレットにおいても、保険金が支払われる費用の具体的列記は見つけにくい。  
そのため音楽産業を専門分野とする八木・大塚両氏が作成したものを使用した。

#### 4. イベント保険における免責事由

### 興行中止保険において保険金が支払われない場合

- ・次のいずれかに該当する事由によって生じた損害
    - ・関係者の故意もしくは重大な過失または法令違反
    - ・関係者の資金不足、支払停止、債務超過、法的倒産手続開始の申立てもしくは決定または解散
    - ・協賛、後援、援助、協力もしくは支持等を得られないこと、チケット等の売上げ不足もしくは観客不足もしくはこれらの事由が予想されることによってイベントが成功する見込みが立たないこと
    - ・イベントの準備もしくは取決めについて関係者の過失または関係者間の紛争もしくは意見の相違
    - ・関係者の犯罪行為または闘争行為
    - ・保険契約締結時に予定されていた労働争議
    - ・公権力の行使
    - ・イベントの出演(予定)者の不出演または役割遂行不能
    - ・被保険者が常時所有、使用または管理する施設の滅失、損傷または汚損
    - ・政変、国交断絶、国家的服喪、経済恐慌、物価騰貴、外国為替市場の混乱または通貨不安
    - ・イベントの出演(予定)者以外の者が感染症にかかっている疑いがあることまたはかかるおそれがあること
    - ・原子力発電所の運転停止に起因する電力不足またはこれに起因する停電またはそれらのおそれ
    - ・戦争、外国の武力行使、革命、政権奪取、内乱、武装反乱その他これらに類似の事変または暴動
    - ・地震もしくは噴火またはこれらによる津波
    - ・核燃料物質もしくは核燃料物質によって汚染された者の放射性、爆発性その他の有害な特殊性またはこれら特殊性による事故
    - ・テロ行為または破壊行為
    - ・テロ行為を抑制もしくは防止する目的またはテロ行為に対して報復する目的で行われる行為
- (出所) 東京海上日動 イベント保険 商品パンフレットより (2015年7月取得)

#### 4. イベント保険における保険事故と免責事由

### 施設所有管理者賠償保険において保険金が支払われない場合

- ・契約者または被保険者が故意に起こした事故
  - ・航空機、昇降機、自動車もしくは原動機付自転車または施設外の船・車両もしくは動物の所有・使用または管理ミスによる事故
  - ・被保険者の使用人が従事中に被った身体障害
  - ・排水または排気による事故
  - ・他人から貸借したり預かっていたりしている財物の損壊
  - ・施設の設営、修理、改造または取壊し等の工事による事故
  - ・石綿(アスベスト)、石綿を含む製品、石綿の代替物質、石綿の代替物質を含む製品の発ガン性その他の有害な特性に起因する賠償責任
  - ・戦争・暴動、騒じょうまたは労働争議や、地震・噴火・津波または高潮等の天災による事故
  - ・他人との特別の約定によって加重された賠償責任
  - ・被保険者の占有を離れた商品・飲食物に起因する賠償責任
- \* 示談交渉サービスは行わない。

(出所) 東京海上日動 イベント保険 商品パンフレットより (2015年7月取得)

# 2014年2月以降 音楽ライブ事故事例(日本)

(出所)[http://ichiranya.com/music/017-accident\\_of\\_concert.php](http://ichiranya.com/music/017-accident_of_concert.php)

2014年3月1日	BABYMETALのメンバーであるYUIMETALは、日本武道館で行われたライブの中で、「ヘッドバンギヤー」の演奏中にステージから転落。転落後、しばらくしてステージに復帰。その後のライブは継続された。
3月2日	人気女性声優であるYTさんが、大阪市北区中之島の府立国際会議場(グランキューブ大阪)で行ったコンサート中に、H容疑者がステージに向かってラジオを投げつけた。この事件でけが人は発生しなかったが、コンサートは一時中断した。再度オープニングからのやり直しとなり、ラジオを投げつけた容疑者は威力業務妨害容疑で逮捕。
4月4日	アイドルグループSKE48の研究生である熊崎晴香が、さいたまスーパーアリーナで行われたコンサートでステージから転落し、右手首骨折の怪我。
4月25日	<p>韓国の男性6人組「超新星」らが出演を予定していたライブイベント「ASIAN STARS SUPER LIVE」(26～27日、大阪城西の丸庭園)が、韓国の南西部沖で16日に発生した旅客船「セウォル号」沈没事故を受け中止されると24日、発表された。</p> <p>これは初開催される「大阪国際音楽フェスティバル」(26～29日)の中のイベントで、同フェス実行委員会や大阪観光局の主催。同委員会では「アーティスト側からの申し出ではなく、韓国の多くの若者が犠牲になった中で遺族の心情などを鑑み、主催側が自主的に判断した」「公共の催しのため、“なぜこんな時に?”という世論が出る可能性にも配慮した」と説明。開催直前での中止決定については、「開催を期待するファンの気持ちも含め、有識者を交えてギリギリまで検討を重ねたため」と述べた。</p> <p>このライブには一青窈(37)ら日本、韓国、台湾の歌手4組が両日に出演し、2日間で約2万人の動員を見込んでいた。チケットは完売していなかったが、「売れ行きは順調だった」(同委員会)。「後日、あらためて今回の企画をもとに再構築したい」との意向を示したが、振り替え公演などの予定はなく、チケットの払い戻しを開始。会場費や人件費など、中止に伴う損失は大きいとみられる。</p>

12月11日	<p>5人組ポップ・パンクバンドPOP DISASTERのボーカルtakayukiが、交通事故により足を負傷。これを受けバンドは、12月と1月のライブへの出演をキャンセルすることを発表。12月6日にメンバーが乗車していた車が横転。もっとも重症だったのがtakayuki。</p>
12月22日	<p>12月22日に開催予定だった「3style」の宮城公演を中止することを発表。これは12月15日の未明に広島県内の高速道路上でメンバーを乗せた機材車が事故に遭ったことを受けての決定。</p>
12月23日	<p>梨の妖精で千葉県船橋市の非公認ゆるキャラである「ふなっしー」は、日本武道館で行われたTHE ALFEEのライブにゲスト出演した際に、約2mの高さのステージから転落した。このライブではふなっしーがTHE ALFEEのアンコールのゲストとして出演していた。舞台最前部で「梨空レインボー」の歌唱中にジャンプした際に足を踏み外したものの。この落下事故でふなっしーは怪我も無く、約3分後にステージに復帰した。</p>
2015年1月16日	<p>テレビ東京の音楽番組「The Girls Live」で、20秒近く音声途切れるハプニングが発生。オープニングの番組紹介映像が始まってすぐ「アップアップガールズ(仮)」の関根梓が、スタジオライブでグループメンバーの着る衣装をコーディネートするという企画の紹介映像が流れた。しかし、紹介が始まるとすぐに音声途切れた。映像は流れたが音声は約17秒もの間、無音状態となった。その後、音声は復活し、番組は何事もなかったようにBerryz工房のスタジオライブの映像に移行した。</p>

2月5日

大阪観光局が2014年4月に開いた国際音楽イベントで、ライブが中止になり損害が出たとして、企画制作を請け負ったNHKの関連会社が観光局に対し、約5000万円の支払いを求める調停を東京簡裁に申し立てたことが判明した。

イベントは約9400万円の赤字が生じ、このうち2700万円を局長が自腹で補てんした。調停で支払い義務が生じれば、損失がさらに膨らむ可能性がある。調停はNHKエンタープライズ(東京都)が昨年12月16日に申し立てた。

同社や観光局によると、イベントの一環で、韓国の歌手らが出演する「アジアンスターズスーパーライブ」が2014年4月、大阪市内で開催される予定だった。同社は準備を進めていたが、韓国の旅客船沈没事故を受けて中止になった。

同社は毎日新聞の取材に「中止で準備費用約5000万円の回収が不能になった。話し合いを続けてきたが進まないのので調停を申し立てた」と説明。観光局は「調停を申し立てられたのは事実。詳しいことは控えたい」としている。

3月6日

「Kis-My-Ft2」の派生ユニット「舞祭組」が、日本テレビの番組「PON!」に出演し東京・汐留のスタジオ横のオープンスペースで新曲を披露した際に、しきりに使っていた竹柵が崩れて女性ファン約10名が将棋倒しとなった。この事件では、3人が軽い打撲を負い応急処置を受けた。

## 2014年2月以降 音楽ライブ事故事例(海外)

(出所)[http://ichiranya.com/music/017-accident\\_of\\_concert.php](http://ichiranya.com/music/017-accident_of_concert.php)

2014年1月22日	スイスのゾロトゥルン(Solothurn)で行われたメタルフェス「Peristence Tour」で、SUICIDAL TENDENCIESの演奏中にステージからダイブした28歳の男性が観客に受け止めてもらえず地面に落下した。男性は2日後に死亡。
3月28日	3月28日から30日にかけて、フロリダ州マイアミで行われていた「ウルトラ・ミュージック・フェスティバル」において、ゲート担当の女性セキュリティスタッフが、押しかけた群衆により倒されたゲートの下敷きとなり大怪我。
6月3日	韓国の男性音楽グループEXOのメンバーであるタオは、香港で行われたライブ中にステージの穴に落下した。 落下時に怪我等はなく、ライブもそのまま続けられた。
10月17日	ソウル付近の京畿道キョンギド城南市で行われていたアイドルの野外コンサート中に、観客の乗っていた換気口の蓋が崩落。27人が転落して16人が死亡、11人が負傷する事故が発生。 このコンサートには女性アイドルグループの「4Minute(フォーミニッツ)」等が参加しており、一部の観客が周囲より1m程高い換気口の蓋に乗っていたところ、蓋が破損し観客27名は19m下のコンクリート上に落下した。

11月23日	<p>アルゼンチンのロックバンド『Krebs』のギター兼ヴォーカリストである、Agustín Brioliniが、ステージ上で感電し救急車で病院に運ばれたが死亡。</p> <p>Agustín Brioliniは、コルドバ州ビージャ・カルロス・パスの「Teatro del Sol」でライブを行った際、マイクに顔を当てた瞬間に感電してステージ上で倒れたもの。</p> <p>この事故ではマイクの配線に不備があったものと考えられ、警察で調査が行われている。</p>
12月21日	<p>ソウル江南(カンナム)区三星洞(サムソンドン)COEXで「2014 SBS歌謡大祭典」が行われた。「SBS歌謡大祭典」は8年ぶりに授賞式が復活し、計10部門の授賞が行われた。</p> <p>この日の午後8時45分に幕を上げた「SBS歌謡大祭典」の最初のコーナーは「SUPER1」で、GOT7、Red Velvet、LOVELYZ、WINNERがそれぞれのステージで観客と交流。</p> <p>音響事故がLOVELYZからWINNERのステージに移る時点で発生した。WINNERはLIVEで「Empty」を披露するためにステージに上がり、伴奏に合わせて歌を始めた。しかしWINNERに先立ってステージに立ったLOVELYZがステージの終了後に観客やスタッフに伝える挨拶がそのまま流れたため、カン・スンユンの歌とソン・ミンホのラップは聞こえなくなってしまった。</p>
2015年6月15日	<p>オーストラリア出身のバンド「ファイヴ・セカンズ・オブ・サマー(5SOS)」のギタリスト、マイケル・クリフォード(19)が、コンサート中に顔面に火傷を負う事故が発生。</p> <p>2015年6月13日に行った、ロンドン公演。本編最後のナンバー「シー・ルックス・ソー・パーフェクト」を、パフォーマンス中のマイケルの頭部に、舞台装置から発射された炎が直撃。この瞬間をとらえた動画には、頭から煙を立たせながら、慌ててステージ後ろへ走るマイケルの姿がおさめられている。しかしマイケルは気丈にも、事故後、SNSに投稿。顔の左半分を覆われた痛々しい姿ながらも、笑顔を浮かべて、親指を立てたポーズで無事を伝えた。</p> <p>心配するファンへ対しても、マイケルは「アンコールを全部やれなくてごめんね」という気遣いも見せた。</p>

## 結語と今後の課題

背景1: イベント・エンタテインメントのリスクマネジメントの重要性

スポーツイベント: 2020東京オリンピックからマラソン大会などの市民スポーツまで。

エンタテインメント: USJの成功、老舗ディズニーランドなど

⇒音楽イベント: 急拡大する音楽ライブ市場⇒リスクも拡大する可能性?

背景2: ポスト東日本大震災

南海トラフ巨大地震、首都直下地震の想定

地震危険担保特約の需要増加

本研究の考察対象たる音楽ライブ当事者にとってリスクマネジメントの重要性

リスクコントロール: 安全管理によるリスク軽減と契約によるリスク共有

リスクファイナンス: 保険によるリスクの転嫁

戦略的な保険選択の重要性 「どの保険をどう選択すれば効果的にリスクを転嫁できるか」

今後の研究課題:

「契約」によるリスク共有についての分析

イベント・エンタテインメントのリスクマネジメント研究の一環

# 参考文献

- 飯塚康之「イベント・リスクマネジメント ～関連法規の概説と、リスク事例研究」『イベント研究』第4号, JPECイベント総合研究所, pp.20-38, 2011年.
- 亀井克之『現代リスクマネジメントの基礎理論と事例』法律文化社, 220p., 2014年12月.
- 日本規格協会編『対訳 ISO 31000:2009 (JIS Q 31000:2010)』2010年.
- 日本リスクマネジメント学会編『リスクマネジメント事典』(『危険と管理』第16号, 291p., 1988年3月).
- 八木良太・大塚寛樹「コンサート・プロモーターのリスクファイナンス」『尚美学園大学芸術情報学部紀要』第22号, pp.29-45, 2013年3月.
- 八木良太・大塚寛樹・亀井克之「音楽ライブ・ビジネスにおけるリスクファイナンス」『社会安全研究』第4号, 関西大学社会安全学部, pp.77-91, 2014年3月 (2104a)
- 八木良太・大塚寛樹・亀井克之「音楽ライブ・エンタテインメント・ビジネスのリスクマネジメント」『危険と管理』第45号, 日本リスクマネジメント学会, pp.221-238, 2014年3月. (2014b)
- 八木良太『音楽産業再成長のための組織戦略』東洋経済新報社, 208p., 2015年7月.
- 八木良太「「定額聴き放題」が音楽業界を救う 課題は料設定と利用者確保」『エコノミスト』2015年10月27日号, pp.42-43., 2015年.
- 山下奈緒子「夏フェス 個性ギラギラ」『朝日新聞』2015年8月27日夕刊.
- \* リスクマネジメントのフレームワークに関する古典的文献を割愛
- \*\* 既発表論文間の内容の進展・相違, ならびに既発表論文から本報告において何が新たに付け加わったか(未公表性)については, 「先行研究と本研究の方法」のスライド参照